

2023 年度
創発的研究支援事業 年次報告書

研究担当者	坂本大介
研究機関名	北海道大学
所属部署名	大学院情報科学研究院
役職名	准教授
研究課題名	デジタル体験の多様性、公正性、包括性のための情報科学
研究実施期間	2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

研究成果の概要

第一年次は主に仮実混在環境における同室感インタラクションの実現に向けた環境整備と基礎検討を実施した。リモートユーザの同室感インタラクションの検討として、VR/AR 環境と対話ロボットによる検討を実施した。特に VR 環境でのデジタル体験の向上に向けた自然な姿勢矯正のための基礎検討や、AR 環境向けの頭部搭載型ディスプレイ（HMD）を複数台使用した状態で、複数人での同室感インタラクションの検討、MR 環境を活用した遠隔診療の実現に向けた基礎技術の検討を実施した。仮実混在環境における身体性インタフェースに関する研究としては、視線インタフェースや身体装着型インタフェースに注目した研究を行った。既にいくつかの検討結果を国内・国際会議へ投稿しており、国内学会で採択されたものが出てきている。これらのデジタル体験の豊かさの向上を目指した研究事例が 2023 年度グッドデザイン賞をはじめとして、情報処理学会シンポジウム「インタラクション 2024」、日本ソフトウェア科学会「WISS2023」で受賞するなどの成果を得られた。

新しいユーザビリティ評価手法の検討として、ユーザインタフェースの評価手法の全般的なサーベイを継続している。創発事業の枠を利用した人文・社会科学研究者との対話の機会については、まだ創発事業の活用ができていないが、人文・社会科学研究者との対話の機会を積極的に設けており、今後の共同に向けて検討を進めている。